

令和3年度

事業報告書及び収支決算書

一般財団法人 下呂ふるさと文化財団

令和3年度 一般財団法人下呂ふるさと文化財団事業報告

1. 下呂交流会館指定管理事業

昨年から一年延期となった東京2020オリンピック聖火リレーは、下呂市では4月4日に無事開催されました。スタート地点は旧下呂温泉病院跡地、ゴール地点は下呂交流会館として聖火がリレーされました。この行事に対応するため、一部の職員は午前4時出勤で業務に当たりました。岐阜県の「非常事態宣言」、これに続く「まん延防止等重点措置」により4月28日からは20時閉館となり、夜間の利用者には、利用時間の短縮をお願いしました。5月15日（土）、16日（日）はアリーナに於いて初の新型コロナワクチンの集団接種が行われました。この2日間に約1,500の方が1回目の接種を受けられました。市とは2月から打合せをしてきましたが、予定通りワクチンが到着し、接種が開始されたことに施設としてもたいへん安堵しました。時短営業は6月20日に解除され、6月末頃からは、県内のコロナ感染者数は落ち着きを見せ、大会、合宿等の利用も8月前半にかけて順調に開催されました。

雨の季節となり激しい雨が降るたびに建物北側の出入りに設置している4台の排水ポンプが稼働するようになりました。側溝から水があふれ出る問題の対策として、令和2年度に排水管にエア抜きを設置する工事を市からの依頼により施設整備費の中で実施しました。しかし残念ながらその効果を実感することはありませんでした。8月14日、豪雨により河川氾濫の危険が高まり、12時15分洪水警報が発令、14時には下呂交流会館に指定避難所が開設されました。翌15日15時30分に閉鎖されるまでに126の方が避難されました。昨年以下呂市との間で結んだ「災害時における施設利用等に関する覚書」等に基づき、2人の会館職員が夜通し事務所に待機しサポートにあたりました。国道41号線も各所で通行止めや、護岸流出が発生し、16日から予定されていた全館利用の合宿も中止となりました。

8月20日からは、まん延防止等重点措置区域、27日から9月30日までは緊急事態宣言の対象地域に指定され、利用の自粛、営業時間の短縮、新たな予約の受付を中止することになり、大型利用は次々とキャンセルになりました。緊急事態宣言は9月末で解除され10月以降は利用が徐々に増えていきましたが、昨年からの延期となっていた「ねんりんピック岐阜2021」については、中止となりました。岐阜県漁協連合会の研修会では、アリーナ内でドローンの飛行を行いたいということで、新たにドローンの利用に関するルールを作りこれに沿った形で開催していただきました。岐阜県におけるコロナウイルス感染者は1月に入って少しずつ増えはじめ、中旬以降は激増し、「まん延防止等重点措置区域」となっていました。これに伴い1月21日から3月6日までの期間について、自主事業の中止・延期及び営業時間を短縮することになりました。アリーナ及びホールを使用し2,500人規模で開催予定であった「東海四県スポーツ推進委員研究大会」については、早い段階で中止が決定されました。

自主事業についても中止・延期・内容の変更などコロナに翻弄された1年でした。十分な感染防止対策を取りながら、さらに事業ごとに参加できる地域を限定するなど、コロナ禍でも安全に文化・芸術を提供できるように検討を重ねながら実施しました。ピアノ体験「タッチ・スタインウェイ」は例年通り開催できました。その後は市から5、6月の事業について中止・延期するように要請があり、5月23日の「ケロポンズ・ファミリーコンサート」、6月12日の「シナジーナイト 歌謡ロッカーズ」、6月13日の「演歌スペシャルコンサート」、6月27日の財団独自事業「津軽のカマリ上映と二代目高橋竹山演奏会」については延期と決定、また「NAOTO&清塚信也デュオコンサート」のチケット発売日を延期としました。演歌の「スペシャルコンサート」と、「NAOTO&清塚信也アコースティック・デュオコンサー

ト」のチケット発売の延期を知らずに購入に来られる方の対応するため、徹夜または早朝から職員を配置しました。7月には「山里亮太の140 岐阜公演」を吉本興業との共催、11月には「芸協らくご下呂寄席」を落語芸術協会との共催で開催しました。共催相手として選ばれることは、下呂交流会館の取り組みが評価されている結果だと思えます。共催によって最小限の経費で市民にこれらの公演を届けられることはありがたいことです。7月18日には「NAOTO & 清塚信也アコースティック・デュオコンサート」を開催。知名度・人気・実力を兼ね備えた演奏家2人による公演は、来場者の満足度が非常に高いコンサートとなりました。31日には、アクティブ シネマ コレクション 劇場版『鬼滅の刃』無限列車編を昼・夜の2回上映しました。超人気作品であり、夏休みに合わせた上映に、子どもをはじめ幅広い年齢層の方々が来場されました。8月24日火曜日に朗読劇「この子たちの夏1945」を開催、益田清風高校演劇部の生徒さんたちが女優さんたちと共演する貴重な機会となりました。また、令和2年の7月豪雨災害に際して支援物資を送ってくださった女優さんたちに直接感謝の意を表すため、山内市長がステージ上で感謝状を贈呈され、お礼の言葉を述べられました。29日日曜日には、「みんなであそぼう！ケロポンズファミリーコンサート」を開催しました。緊急事態宣言が発出されることになりましたが、下呂市内の感染状況、市民限定での開催であることなどを鑑み、市から開催許可をいただき、実施するに至りました。小さな子どもたちが楽しみにしていた公演が実施でき保護者の皆さんにも大変喜んでいただきました。10月2日(土)には、参加できる地域を飛騨3市1村、及び下呂市近隣地区に限定して「クイズ王 伊沢拓司講演会」を開催しました。いつもはあまり見ることのない若い年齢層が来場され伊沢さんへの質問コーナーで積極的に発言される姿が印象的でした。11月18日(木)、19日(金)の連夜、「2021 芸協らくご下呂寄席」を開催しました。18日のトリを務めたのは協会の会長である春風亭昇太さん。代表作的新作落語を上演、観客を大いに楽しませました。21日(日)は、「下呂交流会館特別公演スペシャルコンサート〜明日を信じて〜」を開催。鳥羽一郎、伍代夏子、市川由紀乃の第一線で活躍する実力派3人が一堂に会し贅沢なステージを展開しました。12月10日(金)に、シナジーナイト「ジュスカ・グランパール・ライブ」を開催しました。ギターとヴァイオリンによるアコースティック・デュオの極上の音色に観客は陶酔しました。「まん延防止等重点措置」により、2月11日の「井戸端会議クラシック特別編 田村 緑&デュエット トーク&コンサート」を中止、3月11日の「シナジーナイト 石川寛子 ヴァイオリン・コンサート」は延期としました。3月15日には、新しい形で市民の文化活動をサポートする「オープンマイク 2022 リモートで歌ってみた！」を去年に続いて企画し、市民から送られた工夫を凝らされた動画を「下呂交流会館 YouTube チャンネル」に公開しました。25日(金)には、「ローランド・ジャズ with 吉田純也」を開催、ツイキャスでの有料配信、小さなお子さまも一緒に入場していただける子育て応援シートと学生招待席(中学生・高校生)を設定。これらの新しい試みをプラスして実施しました。

施設を安全、快適に保つため、施設・設備等の保守点検及び修繕、定期清掃及び日常清掃を適正に実施しました。さらに今年度からは、シルバー人材センターと契約を結び、植栽保全等敷地内環境美化にあたることにしました。3月には総務省による、指定管理者制度の運用状況に関する調査があり、資料の提供とリモートによるヒアリングを受けました。コロナワクチン接種への協力、指定避難所としての協力体制のマニュアル化、地域の特性や要望に対応した管理運営などを、評価したとのことです。

2. ふるさと文化振興事業(財団独自事業)

基本財産運用収入によって実施する財団独自事業では、市民による文化活動1件について助成金を交付しました。これ以外の事業は、新型コロナウイルスの感染防止のため中止または延期としました。

令和3年度 理事会・評議員会 議決事項等

	提出日	議決日	内 容
監 査	5月7日	5月7日	・決算監査（令和2年度事業報告書及び収支決算ほか）
第1回 理事会	5月13日	5月13日	・令和2年度 事業報告及び収支決算報告の承認について ・令和2年度 公益目的支出計画実施報告書の承認について ・令和3年度 定時評議員会の開催について ・代表理事及び業務執行理事の職務執行状況について
第1回 評議員会	5月28日	5月28日	・令和2年度 正味財産増減計算書及び貸借対照表並びにこれらの 付属明細書の承認について ・監事の選任について
第2回 理事会	10月29日	10月29日	・ふるさと文化振興助成金の交付審査について ・代表理事及び業務執行理事の職務執行状況について
第3回 理事会	1月25日	1月25日	・令和3年度 第1次補正予算について ・令和3年度 第2回評議員会の開催（決議の省略）について
第2回 評議員会	1月25日	1月28日 書面議決	・令和3年度 第1次補正予算について
第4回 理事会	3月14日	3月14日	・令和3年度 第2次補正予算について ・令和4年度 事業計画および収支予算について ・令和3年度 第3回評議員会の開催について
第3回 評議員会	3月18日	3月18日	・令和3年度 第2次補正予算について ・令和4年度 事業計画および収支予算について

一般財団法人下呂ふるさと文化財団 評議員、役員名簿

評議員（任期 令和2年5月28日～令和6年5月定時評議員会）

氏名	初回就任年月日
野村 勝	H24.4.1
松山 則樹	H28.5.27
細田 芳充	R1.5.28

監事（任期 令和2年5月28日～令和6年5月定時評議員会）

氏名	初回就任年月日
清水 幹男	R2.5.28
熊崎美津恵	R3.5.28

理事（任期 令和2年5月28日～令和4年5月定時評議員会）

役職名	氏名	初回就任年月日
代表理事	二村 文康	H24.4.1
業務執行理事	今井 雅彦	R1.5.28
理事	田口 広宣	R2.5.28
〃	熊崎 敬子	H24.4.1
〃	萼 富美子	H24.4.1
〃	住 智治	H26.5.26
〃	永田 光由	H30.5.28

令和3年度実施事業

1. 下呂交流会館の指定管理事業

(1) 会館の運営に関すること

- ①責任者ほか必要な人員の配置
- ②会館の利用申請の受付・許可
- ③利用料金の収受
- ④舞台設備の管理・操作
- ⑤広報・宣伝
- ⑥施設内のカフェ、自動販売機設置に関すること

(2) 施設等の維持管理に関すること

施設の適正な維持管理のため、清掃、施設・設備点検等の保守点検及び修繕、植栽保全等敷地内環境美化を行った。

- ①清掃業務
- ②建築物環境衛生管理点検報告業務
- ③電気・空調・給排水衛生設備管理
- ④施設・設備保守点検
- ⑤特殊建築物定期点検報告業務
- ⑥修繕
- ⑦植栽の管理
- ⑧駐車場の管理
- ⑨備品の管理
- ⑩施設内の秩序を維持し、事故、盗難、破壊等の犯罪及び火災等災害の発生を警戒・防止し、財産の保全を図るとともに利用者の安全を守るために、保安管理を適切に行い、開館時間以外の時間帯については、オンラインセキュリティーシステムによる機械警備を行った。

* 今年度からは、シルバー人材センターと契約を結び、植栽保全等敷地内環境美化にあたった。

(3) 事業の企画及び開催に関すること

形態	事業名		実施日
鑑賞型	ファミリーコンサート（幼児）	「みんなであそぼう！ケロポンズ ファミリーコンサート」	8月29日
	演歌	「スペシャルコンサート ～明日を信じて～」 伍代夏子&鳥羽一郎&市川由紀乃	11月21日
	クラシック ポップス	「NAOTO&清塚信也 アコースティック・デュオコンサート」	7月18日
	ミュージカル系 ビッグバンド Jazz	ミュージカル俳優 コンサート（内容を変更） 「ローランド ジャズ with 吉田純也」	3月25日
	講演会	「クイズ王 伊沢拓司講演会～楽しいから始まる学び～」	10月2日
	シナジーナイト 市民協働企画	「ジュスカ・グランペール・ライブ」シナジーナイト（4回予定の内3回を中止、12月のみ開催）	12月10日
	シネマコレクション（映画）	「鬼滅の刃」	7月31日
	追加事業	「山里亮太 140 岐阜公演」（吉本興業共催）	7月10日
	追加事業	「2021 芸協らくご下呂寄席」（落語芸術協会共催）	11月18日 19日
普及型	朗読劇	「この子たちの夏」 1945・ヒロシマナガサキ	8月24日
	大人のための ワークショップ “井戸端会議”	クラシック音楽等（2回予定） 「田村緑&デュエットトーク&コンサート」	中止
		ミュージカル、演劇、ジャズ等（2回予定）	
地域貢献型 （参加・交流）	まめ1ライブ 市民協働・出演	「オープンマイク 2022」リモートで歌ってみた！	3月15日 公開
	市民参加	タッチスタインウェイ（ピアノ体験）	5月1日～ 9日
その他	翌年度事業	翌年度以降の事業の企画・交渉・広報宣伝	通年

(4) 危機管理体制の整備、運用に関すること

①緊急時の対策及び防犯、防災対策、事故等の未然防止及び事故発生時の対応について、マニュアルに基づき、従事者に指導及び訓練を行う。

②災害等の発生時には、下呂市地域防災計画に基づく防災上重要な施設の管理者としての責務をはたす。

* 指定避難所開設 8月14日14時 閉鎖時間 8月15日15時30分

使用施設 アリーナ、マルチスタジオ 避難人数 合計126人

③利用者の安全を図るため設置された、自動体外式除細動器(AED)の日常の動作確認を行った。

(5) 市民協働

①市民協働による運営を行った。

・アクティブサポーターズ

たくみ隊 事業の企画・運営 (令和3年登録者11人)

もてなし隊 ホールスタッフ (令和3年登録者13人)

・ピアノ弾き込みボランティア (令和3年登録者10人)

②下呂交流会館運営向上委員会

会館の利用者代表、行政、観光業代表により構成する下呂交流会館運営向上委員会を開催し、会館のより良い管理・運営を目指す。* 令和3年度は案件が無く、開催しなかった。

(6) 行政との連携

下呂市の担当部署及び関係部署と下呂交流会館による、下呂交流会館運営協議会を開催し、下呂交流会館のよりよい管理・運営を目指して行政との意見交換を行う。

* 5月6日、市長公室長、市民活動推進課課長、担当者との意見交換会を行った。

(7) 誘致・宣伝・販売促進

①誘致・宣伝

誘致宣伝委員会に毎月出席し情報交換を行った。旅行者者キャラバンへの参加は中止となった。

②チケット販促 市内各地へ出向きイベントの紹介、チケットの販売を行った。

(8) 定期刊行物による情報発信

交流会館でのイベントの周知のため情報発信を行った。

事業名	内容	頻度
定期刊行物による情報発信	広報紙の発行 アクティブタイムス	年間
会館ホームページの運営	イベント関連情報の随時更新	随時
ケーブルテレビによるイベント情報発信	情報番組「アクティブタイム」制作協力、出演	毎月1番組
メールマガジンによるイベント情報提供	下呂市メールによる情報提供	随時

2. ふるさと文化振興事業

(1) 文化に関する研究会、講演会、鑑賞会等の開催

地域文化・伝統文化の保護・育成と、芸術の普及・向上、文化の創造のための事業

①講演会、見学会等

地域の文化について関心を高めるとともに理解を深め、私たちの「ふるさと」を再認識するための事業。*新型コロナウイルス感染防止のため、延期とした。

形態	事業名	会場	時期
講演会等	ふるさと講座 (A)「ブルーノ・タウトの旅日記抄から」 (B)「川の達人」天野勝利氏	下呂交流会館	延期
見学会	地域の文化・自然に関する見学会 歴史探訪等	小坂地域	延期

②鑑賞会等

芸術作品や音楽などの鑑賞会等。*新型コロナウイルス感染防止のため、延期とした。

形態	事業名	時期
制作発表	市内出身者や関係者による楽曲の制作や演奏会、美術などの展覧会の開催 鑑賞会等(A) 映画「津軽のカマリ」上映と二代目高橋竹山 演奏会 鑑賞会等(B) 絵画「小池昌弘 展」	延期

(2) 地域文化及び伝統文化の育成援助

地域文化の発展のため、住民主体の文化的活動に対する助成を行った。

ふるさと文化振興助成金交付明細

住民主体の文化的活動、次の1件に対して助成を行った。

団体名	行事名・活動名	助成金額	回数
下原古郷の会	加藤素毛伝承まんが「幕末に世界一周やってみた」の増刷発行业業	100,000	初回

(3) 文化資料及び芸術作品の調査研究と保護

地域の歴史、文化、自然についての調査、研究。*対象事業は無かった。

(4) 情報の発信や公開のため、財団のホームページの運営を行った。

形態	事業名
情報発信、公開	ホームページの運営 http://gero-furusato.jpn.org